

子どものスマホの先、 誰とつながっているか知っていますか？

～『スマホを買い与えて終わり』ではありません！～



子どもが、SNSを通じて犯罪に巻き込まれる被害が増えています。
スマートフォンは、緊急時の連絡等、便利な反面、インターネット上には
様々な情報が氾濫しており、使い方を間違えると犯罪に巻き込まれる危険もあります。



子どもにスマートフォンを持たせる場合、
ネットリテラシー（インターネットを適切に使いこなす能力）が未熟なため、
大人が適切に管理し、見守っていくことが大切です。



家庭内で ルールを決めましょう

「家族のいるリビングで使う」
「21時には電源をオフにする」等、
家庭内でスマホを使う場所や時間を、
子どもと話し合っ、
ルール化しておきましょう。

フィルタリングの活用

子どもが違法・有害なサイトに
アクセスしないよう機能を制限する
「フィルタリングサービス」を利用しましょう。
利用設定は保護者の義務です！

※利用できるサービスや設定方法は、
事業者やアプリによって異なりますので、
契約している携帯電話会社等に
確認してください。



利用状況を チェックしましょう

「誰とどんなやりとりをしているのか」
「知らないアプリを入れていないか」等を
確認しましょう。
親も使い方がわからないアプリは
子どもに使わせるべきではありません。



子どもと コミュニケーションを！

ネット上には、「悪い大人」もいることを伝え、
日頃から子どもが被害者となった事件等、
具体的な危険について話をしましょう。
まずは、何でも話し合える関係づくりを！



「ペアレンタルコントロール」できていますか？

ペアレンタルコントロールとは、子どもが利用するスマホなどの
情報通信機器を、親が監視し制限することです。

IPA（情報処理推進機構）のHPIに詳しい解説動画があります。

<http://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/videos/20190304.html>

QRコード



子どもが



安心してオンラインゲーム

スマホゲームを楽しむために



ポイント1 他人に推測されにくいパスワード!

ID・アカウントから推測されるパスワードにしない。
誕生日・電話番号をパスワードにつかわない。
簡単なパスワードにしない。(例 1234,abcd,pass)



ポイント2 パスワード等登録情報の厳正な管理

むやみにパスワードや登録情報を他人に教えない。



ポイント3 利用者情報の正しい登録!

誕生日などの登録情報は、正しく登録する。

ポイント4 課金情報の把握!

無料と有料の境目を見極めて、課金状況を家族で確かめる。



ポイント5 ゲームの利用規約を守る!

多くのゲームでアカウントの譲渡やRMT*¹が
利用規約等で禁止されています。

*¹RMTとは、リアルマネートレードといい、
ゲームのアカウント、キャラクターや
アイテムなどを実際の通貨で売買すること。

ポイント6 家庭内でのルールづくり!

プレイ時間や課金額などゲームをする上での
ルールを家庭内でつくる。

